

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ソーシャルワーク実習指導 c		選択	2	4	前期 (集中) / 後期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
渡邊 隆文 他	B307	t.watanabe	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的> ソーシャルワーク実習で得た具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化、理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</p> <p><概要> 実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括レポートの作成を通して、スペシフィックな実習体験や援助活動を、ジェネリックな専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てる。ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションを通じて理解を深める。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	実習内容について施設評価・自己評価をもとに振り返りを行い、実習のまとめ、並びにプレゼンテーションに向けての準備をすすめるため、各自が取り組んだ実習内容について改めて記録物をもとに整理しておくとうい。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座 8 ソーシャルワーク実習指導・ソーシャルワーク実習[社会専門]/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	必要に応じてプリントを配布する。				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	ソーシャルワーク実習を通じた体験的学びを生かした実習の振り返りができる。			HC(2)	
②	自身の学びを言語化し、他者に伝わる様なプレゼンテーションができる。			HC(3)	
③	ソーシャルワークの知識・技術・価値についての実習のまとめができる。			HC(5)	
④	自己覚知を通して、自身の強みと弱みを説明できる。			HC(4)	
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (指導の進め方、評価についての説明) 実習後指導の意義について学ぶ。	講義	学外実習の手引、実習日誌を熟読する。	4	
2	実習内容についての達成度の自己評価の振り返りを行う。	指導	実習評価表の項目チェックを行う。	4	
3	実習内容についての達成度の自己評価の振り返りに対する個別指導を行う①。	指導	実習評価表および自己評価表の比較をする。	4	
4	実習内容についての達成度の自己評価の振り返りに対する個別指導を行う②。	指導	実習評価表および自己評価表の比較をする。	4	
5	実習日誌や実習体験を踏まえた課題の整理とピア評価を行う①。	グループワーク・指導	実習評価表および自己評価表の比較をする。	4	
6	実習日誌や実習体験を踏まえた課題の整理とピア評価を行う②。	グループワーク・指導	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4	
7	実習日誌や実習体験を踏まえた課題の整理とピア評価を行う③。	グループワーク・指導	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4	
8	実習のまとめのプレゼンテーションの準備を行う①。	グループワーク・指導	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4	
9	実習のまとめのプレゼンテーションの準備を行う②。	グループワーク・指導	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4	
10	実習のまとめのプレゼンテーションの準備を行う③。	グループワーク・指導	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4	
11	実習のまとめのプレゼンテーションの準備を行う④。	グループワーク・指導	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4	
12	実習の評価全体総括会としてのプレゼンテーションを行う①。	プレゼンテーション	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4	
13	実習の評価全体総括会としてのプレゼンテーションを行う②。	プレゼンテーション	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4	
14	実習の評価全体総括会としてのプレゼンテーションを行う③。	プレゼンテーション	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする。	4	

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

15	今後の課題についてのまとめについて取り組む。	講義	実習日誌及び学外実習の手引の熟読をする	4					
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		0	0	40	0	60	100		
総合力指標	知識・技術力	0	0	0	0	5	5		
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	20	20		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0		
	発表・表現伝達する力	0	0	30	0	10	40		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5		
	取組みの姿勢・意欲	0	0	10	0	10	20		
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	10	10		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
レポート	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
成果発表	①		学生間で行うミニプレゼンテーションや最終プレゼンテーションの評価や達成度を総合的に評価する。				個別にフィードバックを行う。		
	②	✓							
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	①	✓	指導に対する取り組み状況や課題の提出状況・達成度を総合的に評価する。				個別にフィードバックを行う。		
	②	✓							
	③	✓							
	④	✓							
	⑤								
	⑥								
備 考									
他 担 当 教 員	田村 正人								
教員の実務経験	渡邊 隆文：社会福祉士取得後 6 年の実務経験を有する。 田村 正人：社会福祉士取得後 13 年の実務経験を有する。								
実践的授業の内容	教科書に記載されている一般的事項を踏まえつつ、社会福祉士としての教員自身の事例を示し、その実践知と教科書に記載されている理論知を比較しながら学習する。								
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開講時期：後期（集中）は編入生のみ履修可。 ・ 社会福祉士取得希望者は必ず履修すること。 ・ 教員が示す授業方法を遵守すること。問題がある場合は授業の参加を認めないこともある。 								